

九州地区懇話会活動報告

田中 信利(北九州市立大学) nobut@kitakyu-u.ac.jp

下記の通り、平成 17 年度の九州地区懇話会は昨年と同様に、発達コロキウム（九州大学大学院人間環境学研究院発達心理学教室、福岡県前原市主催）に共催する形で参加しました。今回は、「つながりを求めて一気になる子どもたちへの理解と支援」というテーマで、平成 18 年 1 月 14 日に福岡県前原市役所で行いました。

プログラム内容は、講演、シンポジウム、実践報告から構成され、発達臨床の現場からの発表に触発されて活発な議論が展開し、有意義なひとときを過ごすことができました。

福岡県前原市を中心に、研究者および大学院生のみならず、医療、保健、福祉、教育といった発達臨床の現場に携わる方々が多数参加され、100 名を超える盛会でした。

また今回は、事務局の不手際により、会員の方々へのご案内が滞ってしまい、多大なご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。

発達コロキウム 2005

つながりを求めて一気になる子どもたちへの理解と支援

2006 年 1 月 14 日（土）会場：福岡県前原市役所 501 会議室

プログラム

10：00－10：10 開 会

10：10－11：10 特別講演『特別支援教育は乳幼児期とどうつながるのか』

遠江 規男（福岡県教育庁 特別支援教育室長）

11：15－12：30 シンポジウム『前原市の取組み－子どもたちの未来をつなぎ育む関係作り』

司会 田中 信利（北九州市立大学文学部）

話題提供

- (1) 乳幼児健診から関係機関へ 松本 美保（前原市健康課）
- (2) 早期療育への展開 深田 和美（前原市福祉課）
- (3) 要保護児童ネットワークの構築 林 久美子（前原市児童家庭課）
- (4) 学校からの発信 谷口 慎二（前原市波多江小学校）

コメンテーター 山下 洋（九州大学病院）

遠江 規男（福岡県教育庁）

13：15－14：15 実践報告Ⅰ『乳幼児健診後のフォローの現状と課題』

司会 船橋 篤彦（日本学術振興会特別研究員）

- (1) わんぱく広場 松島 暢志（九州大学人間環境学府）他
- (2) 個別療育 飯塚 一裕（佐賀短期大学）

コメンテーター 森崎 博志（愛知教育大学）

藤瀬 教也（福岡市姪浜小学校）

14：25－16：00 実践報告Ⅱ『事例検討からみる地域連携の必要性』

司会 重橋 史郎（NPO 地域支援センター“フォルツァ”）

- (1) 幼稚園への巡回指導 香野 毅（静岡大学教育学部）

(2) 発達障害児への個別教育支援 岩瀬 鈴子 (前原市怡土小学校)

(3) 要保護児童：未来への可能性 林 久美子 (前原市児童家庭課)

コメンテーター 干川 隆 (熊本大学教育学部)

山下 洋 (九州大学病院)

16:00-17:00 総合討論

司会 大神 英裕 (九州大学大学院人間環境学研究院)

コメンテーター 藤田 継道 (兵庫教育大学)

古川 泰永 (前原市前原中学校)

17:00-17:10 閉会

九州地区懇話会事務局 田中信利

北九州市立大学文学部人間関係学科

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

TEL 093-964-4353 E-mail: nobut@kitakyu-u.ac.jp